

平成 22 年 2 月 24 日

(参考資料)

住友信託銀行株式会社

### 南京市信託投資有限公司の株式取得による経営参加について

住友信託銀行株式会社(取締役社長 常陰 均)は、南京市人民政府の金融持株会社である南京紫金投資控股有限責任公司(以下「南京紫金」)の 100%子会社である南京市信託投資有限公司(以下「南京市信託」)が、今般、中国銀行業監督管理委員会(以下「CBRC」)より新たに信託免許申請認可を取得したことに伴い、本年 3 月下旬を目途に南京市信託出資持分の 19.99%<sup>1</sup>(119,940 千元 / 15.8 億円 本年 1 月末公示仲値 1 元=13.15 円)を取得し、経営参加することと致しました。中華人民共和国(以下「中国」)の金融機関に対し株式取得にとどまらず経営参加するのは邦銀としては初めてとなります。なお、開業は本年 10 月頃を予定しております。

当社と南京紫金は平成 21 年 9 月 29 日に南京市信託の出資持分譲り受けに関する基本合意書、同年 11 月 18 日に持分譲渡契約並びに戦略提携契約等を締結し、株式取得並びに経営参加について協議を行って参りました。

今回の株式取得による経営参加の目的は、中国政府が信託会社の機能・規模拡大と外資系金融機関のノウハウ導入を推進しているタイミングを捉え、当社の経験とスキルを活用して日系企業を始めとするお客様に対し信託機能を通じて新たな資金調達・運用手段の提供を目指すものです。

南京市に省都を置く江蘇省には富裕層が多いことに加え、上海に次いで日系進出企業数が多く、今後も高い経済成長が見込まれる地域です。当社は、南京市信託の共同経営者である南京紫金と今後期待されるインフラ開発、富裕層向け商品提供、資産流動化など中国国内信託事業へも積極的に関与して中国信託市場の成長を後押しして参りたいと考えております。また、これらの事業を通して、日系企業と中国企業の橋渡しも行なって参ります。

当社は、日本の信託銀行としては唯一中国国内に支店を有し商業銀行業務を行っているほか、現地法人の中和住信諮詢(北京)有限公司では中国進出日系企業に対する事業展開サポートを行っております。また、中国証券監督管理委員会より取得した邦銀唯一の適格外国機関投資家ライセンス(Qualified Foreign Institutional Investors、略称;QFII)を活用し、本邦国内投資家向け中国株 SRI ファンドの商品化を進めて参ります。加えて、中国企業と合併で日本企業として初めて設立した省エネ・環境事業会社(社名:科信力環保技術(北京)有限公司)にて、中国の省エネ・環境事業を推進しております。

今回、獲得する信託機能と既存の支店及び在中国各社が展開する事業によりアジアで No.1 のトラストバンクのステイタス獲得に向け努力して参ります。

以上

<sup>1</sup> CBRC 公布「非銀行金融機関行政許可事項実施弁法」(平成 19 年 8 月)上、外資系金融機関の単独出資は 20%上限と規定。